

令和8年度都立桐ヶ丘高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組
国語	「書くこと・話すこと・聞くこと」について、習熟度に合わせた基礎からの学び直し	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別クラスごとに個々に応じて、基礎からの学び直しを行う。 ・教科内で、生徒の学力や授業のやり方などを共有。 ・共通テストを用いた学力向上の評価・見直し。
地歴 公民	「多面的・多角的なもの の見方・考え方」の涵養 とその結果としての発信 する力の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジスクールとして基礎的な知識の定着の徹底するため、教授内容を精選した授業の実施。 ・発問に対する発言を求めるほかに、それが苦手な生徒もいることも配慮してformsなども使用して何らかの形で発信する力を養成する。 ・「読み取る力」養成の観点から上記の題材として図版や資料の読み取りを多用した授業の実施。
数学	計算の基礎基本の定着 と自己肯定感の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い学力に対応するための習熟度別授業の展開 ・定着度測定や自己評価を高めるための振り返りシートの実施
理科	観察・実験を通じた体験 学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・科学と人間生活で観察・実験を毎時間実施 ・教科会において科学と人間生活の年間授業計画を共有
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力の定着・伸長を図る ・生涯スポーツに触れる ・基本的な生活習慣の確立を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・各講座で簡易的な補強運動を取り入れ、基礎体力の向上を図り、全国体力テストの結果を協議し、学校としての体力の課題を明確にする ・パラリンピック競技を取り入れ、生涯にわたってスポーツを楽しむ資質を養う ・各講座で身近なニュースに触れながら、自己の健康を適切に管理していく素養を育む。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・「表現活動」の充実 ・「鑑賞」指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の基礎となる能力を伸ばせる教材の開発 ・鑑賞する態度を養う授業を展開
外国語 (英語)	「話すこと」「聞くこと」の 指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク・グループワークをふんだんにとりいれたコミュニケーション的な授業の展開 ・全ての科目において、外国人講師による英語オンリーの授業を実施
家庭	基本的な知識と技術を 修得させる	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活では18歳成人知識を修得 ・被服実習、調理実習を実施する。基本的な縫い方を修得。基本的な調理について修得する。
情報	「情報通信機器の使用」 を踏まえた学習活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯情報端末以外の情報機器について基本的な操作方法を身につけさせる活動を実施する。 ・倫理観・法律・情報通信機器・情報との関わり方について、日常生活と関連させた指導を検討する。
商業	資質・能力を育成する ための授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに関する新聞記事やニュースなどについて知識と技術を総合的に活用して生徒自らが考え、整理した事を解説する学習活動を取り入れている。 ・ビジネスに関する情報を処理する課題を設定し、情報処理の知識や技術を用いて情報の収集・処理・分析を行ったりPC環境を効果的に活用した学習活動を取り入れている。